

まなぶくんだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



和歌山県学習到達度調査結果の概要等について

当センターWeb ページに「平成 29 年度和歌山県学習到達度調査の概要」と、各教科の「結果分析と指導のポイント」を掲載しています。日々の授業改善のためにご活用ください。

過去 5 年間の調査結果から

○**基礎的・基本的な問題の正答率は、約 7 割程度です。**

先生方が授業のまとめ・振り返りの時間や、国語マスター問題集等を活用した補充学習等で、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導を徹底し、取り組んだ成果だと考えられます。

○**記述問題の無解答率に改善がみられます。**

「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3 か条」で示している「児童生徒が自分の考えを書く時間を確保する」ことについて、県教育委員会、市町村教育委員会、学校が一体となって取り組んできたことにより、児童生徒の「書くこと」に対する意識が向上したと考えられます。

○**記述問題については、出題の形式により改善傾向にばらつきがあります。**

問題の本文や設問の内容をよく理解したうえで、示された条件に合わせたり、言葉や式、図、表などを関連付けたりして、適切に表現する力を身に付けさせる指導を丁寧に行うことが重要です。また、様々な形式の問題に取り組みせることも必要です。



きいちゃんと学ぶ！マスター問題集が活用されています

県内の先生方のご協力のもと、「きいちゃんと学ぶ！理科マスター問題集」が完成し、当センターWeb ページに掲載しています。「きいちゃんと学ぶ！国語マスター問題集」とともに、基礎学力の定着を図る時間や補充学習、家庭学習等、様々な場面で活用できます。



国語マスター問題集は、昨年度小・中学校に CD で配付しています。

理科マスター問題集は、当センターウェブページ「補充学習・家庭学習」のバナーをクリックし、ダウンロードしてください。



「学力向上プログラム【学校用】」では、2月から4月は、「指導改善サイクル 2」にあたります。各学校では「和歌山県学習到達度調査結果」や「評価テスト結果」等をもとに、学力向上に係る取組の成果を確認し、個々の児童生徒のつまずきや自校の課題の克服に向けた学習指導をお願いします。



なお、和歌山県学習到達度調査結果の「結果分析と指導のポイント」や、各校に送付している「対応確認シート」には、調査問題に対応する「きいちゃんと学ぶ！国語・理科マスター問題集」の問題番号を示していますので、計画的・継続的にご活用ください。

到達度調査、国語・理科マスター問題集等のお問い合わせは
学力対策課 (0739) 26-3514 まで

←「対応確認シート」の活用方法

07「別の角度から」

コロンブスがアメリカ大陸を発見したのは、1492年10月12日のことでした。正確には、今のバハマ諸島の一つにたどり着いたのです。しかしながら、彼自身は、死ぬまでそこをインドの東側だと思っていたと言います。

当時、「地球は丸い」という考えが一般に普及しはじめ、コロンブスもその考えに沿って、今までの航路と逆回りに進めばインドにたどり着くという仮説のもとに航海を行ったので、たどり着いたところがインドであると思ったのです。それが新大陸とは、思いもよらなかったでしょう。

こういうことはよくあることですが、大事なはその時の対処であると思います。人間は色々な実験をしますが、最初に結果を予想し、仮説を立てます。その実験の結果が予想や仮説と同じだった場合、予想通りだと思いますが、コロンブスの発見のように意図した結果と表面上は同じに見えても異なる結果になることがあります。大事なのは検証です。これを怠るととんでもないことになりかねません。

結局、このバハマ諸島を含む大陸がそれまで発見されていなかった新大陸であることを主張したのはアメリゴ・ベスプッチで、それにちなんでアメリカ大陸という名前が生まれました。しかし、ベスプッチも北米と南米がつながっているこ

とは分からず、南北アメリカが一つの大陸であることは、バスコ・ヌニエス・デ・バルボアによる探検を待たなければなりません。コロンブスの発見から20年以上経ってからのことです。

自然科学がまだ発達しておらず、(コペルニクスが地動説を唱え始めたのは、この20年後です) 観測するための器具も十分でない中、しかも1回の航海での発見なので、コロンブスの失敗も無理はないとも思いますが、もう少し慎重になって何度か探検することができれば、今頃はアメリカ大陸ではなく、コロンビア大陸と呼ばれていたかもしれません。



地域と若者 ～紀南の高校生の今～ 平成29年度マナビスト支援セミナー【紀南の部】

「マナビスト企画ゼミ及び支援セミナー【紀南の部】」では、和歌山大学の先生の指導や助言を受けながら、受講生が主体的に調査・研究などを行い、仲間とともに学びを深めています。

今年度のテーマは、「**地域と若者 ～紀南の高校生の今～**」です。紀南地方には、地域活性化に関わる取組を行っている魅力的な学校がたくさんあります。今年度は**神島高校**、**熊野高校**、**田辺高校**にスポットを当て、大人が高校生の地域活動の実態

や悩みをインタビューにより把握し、それらの取組を地域ぐるみでどのように支えるのか、また、若者とともに魅力のある地域をどのように作っていくのかについて考えてきました。

この「企画ゼミ」で調査・研究してきたことを広く一般へ発信する場として、「支援セミナー」を実施します。住みよい地域づくりに興味のある方、人とのつながりに関心のある方は、是非ご参加ください。

日時：平成30年2月18日(日)

13:00～16:00(受付12:30～)

場所：和歌山県立情報交流センター Big-U 研修室1

【参加申込】平成30年2月14日(水)

までに、お申込みください。詳細は学びの丘 Web サイトの最新情報をご覧ください。

【問い合わせ】

学校支援課

(0739) 26-3494



いつでも、どこでも視聴が可能！「動画研修パッケージ」

教育に関する最新の情報を得る機会、個人のスキルアップ、校内研修の一環として活用できるよう、「動画研修パッケージ」を作成しています。当センターWeb ページに掲載していますので、ぜひご活用ください。

平成29年度のコンテンツ

29-1 ミドルリーダーの育成
中堅教員の資質の向上とは
帝京科学大学 教授 額持 勉 氏

29-2 コーチング
コーチングについて
京葉大学 准教授 久米 昭洋 氏

29-3 アクティブ・ラーニング
主体的・対話的で深い学びの実現
アクティブラーニングが広がる未来
國學院大学 教授 田村 学 氏

e きのくに e ラーニングシステムの ID とパスワードが必要です。

小・中学校においては、4月に各市町村教育委員会から学校に連絡しています。学校支援課 (0739) 26-3494 まで

今後も時代に応じた内容をアップしていきます

学びの丘 Web サイトには役立つ情報がたくさんあります！

